

保健医療の調査研究事業

1. Samsara サムサーラ事業 大田浩右、小林奈美、藤井英治、中川多恵子
岡山県文化資料保存協会、大田ふるさと資料館にて、サムサーラによるストレス効果の調査研究。 →継続
癒しを促す多面的支援法とその効果の検討、サムサーラ健康セミナー → 継続

2. 脳過敏症(不定愁訴)に関する臨床研究-効果的なストレスバイオマーカーの調査研究 大田浩右、小林奈美
「脳過敏症のバイオマーカーとしてのオージオグラム(仮題)」誌上発表予定 →継続

3. 脳血管障害に関する臨牀からの調査研究 大田慎三、小林奈美
「より安全な血管内アプローチを可能にする脳動脈瘤画像アセスメント法:四輪法の勧め」誌上発表準備→継続
脳動脈瘤患者を支援するツール開発のための医学的資料収集→継続

4. 駆虫剤の抗がん作用についての調査研究 大田浩右、小林奈美
メベンダゾール、フェンベンダゾール について

2008年偶然に駆虫剤に抗がん作用のあることが発見され、続いて2011年には悪性脳腫瘍である多形膠芽腫にも強い効果が発見された。2008年 Mol Cancer Res、2009年米国がん学会誌 Cancer Research、2011年 Neuro.Oncol に次々と駆虫剤論文が発表された。ジョンズホプキンス大学で今年中に治験の第一相試験が終わる。医療に見放された末期がんにもベンダゾールやフェンベンダゾールを試してみる価値はある。長期投与は別として半年内の期間では副作用はほとんどない。なお、メベンダゾールは人に認可、フェンベンダゾールは動物用に認可されている。

大田浩右

市民健康啓発事業

1. 健康に関するパンフレットの出版

大田浩右、小林奈美

「脳過敏症 治療指針 早く良くなるために」パンフレット作成

「脳過敏症 シビレ・ピリピリ痛」パンフレット作成

「脳過敏症 めまい」パンフレット作成

→継続

2. 市民公開講座

「今子供の睡眠が危ない」9月 ローズコム予定 ⇒今回は見送りとなった。

2020年2月16日、瀬戸内海フォーラムにて「心と体の慢性痛 脳過敏症について」講演

3. 健康長寿に寄与する熱帯薬用植物の栽培法に関する調査研究

大田浩右、伊勢村千恵

アルカロイド科:コーヒー、バンレイシ科:アテモヤ、チェリモヤの栽培 →継続

4. 無料相談ホットライン:脳過敏症ホットライン

がん相談ホットライン

大田浩右、中川多恵子、小林奈美

継続事業。今までは脳過敏症を対象としてきたが今後、より多くの方に利用してもらえるよう、Web上への相談症例掲載などを行った。 →継続

保健医療・福祉の顕彰事業

澁谷昇賞

第5回澁谷昇賞の顕彰候補者選定作業を行った。

授賞者:佐藤純子さん(NPO 法人介護ハウス管理者)

吉原隆さん(広島県高等技術専門学校教諭 精神保健福祉士)

2020年2月21日授与式を執り行った。